



第49期のご報告

IR ハンドブック

平成25年4月1日～平成26年3月31日 銘柄コード: 9377

トピックス 新規事業の開拓 —完全閉鎖型植物工場事業を開始—



Power Supply Business



Maintenance Business



Supplementary Equipment Business

Airport Ground Power

株主の皆さまへ



代表取締役社長

山口 栄一

エージーピー  グループ理念

社会から信頼を受ける会社を目指し、
社会の繁栄と地球環境の浄化保全に
貢献する

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、各種政策の効果
が下支えするなか、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要
もあり、緩やかな回復基調が続きました。航空業界では、首都
圏空港の発着枠の拡大に向けた空港整備計画が進んでいます。
また、外交問題による需要の急変動等の懸念材料もあるなか、
国内景気の回復や円安に伴う訪日旅客の増加により、国際線
の増便や路線開設等、需要の拡大基調が継続しました。一方、
本邦LCCのシェア拡大により、航空会社間の競争がさらに激
化しています。

このような状況のもと、当社グループの当期の売上高は、前
期比8億53百万円(8.2%)増の113億15百万円となりました。

営業費用につきましては、関西空港における減価償却費の
減少のほか、人材ソースの多様化等により総人件費を抑制し
たものの、売上の増加に伴う原材料費の増加により、前期比
5億77百万円(6.0%)増の102億32百万円となりました。
この結果、営業利益は前期比2億75百万円(34.1%)増の
10億83百万円、経常利益は前期比3億18百万円(42.0%)
増の10億77百万円となりました。これに、成田・福岡の空港
整備計画に伴い使用できなくなる当社設備の減損処理、省

エネタイプの空調設備への更新に伴う除却損等、合計1億36百万円の特別損失を計上し、税金等調整前当期純利益は前期比3億67百万円(64.2%)増の9億40百万円、当期純利益は前期比2億30百万円(68.0%)増の5億70百万円となりました。

現在の当社グループを取り巻く環境は、首都圏空港の発着枠拡大、各空港の整備計画の進展に加え、経済発展の続くアジアをはじめとした訪日需要の拡大、航空各社による国際線の増便・路線開設等を背景に、拡大基調が見込まれます。一方、本邦LCCのシェア拡大等により航空会社間の競争はさらに激化すると予測されます。

このような状況のもと、当社グループは、今後もイベントリスク耐性の高い筋肉質の企業体質を維持しつつ、既存事業の強化・拡大を図ってまいります。また、経営環境の変化に合わせて効果的に経営資源を投入し、新たな事業分野の開拓にも積極的に取り組み、さらなる業績の向上を目指します。こうした経営戦略に則り各種施策を進めると同時に、今後も変化する経営環境に対応していくため新たな中期事業計画策定の準備を進めており、2014年度中に開示する予定です。

2015年3月期の業績見通しにつきましては、動力事業で

は、成田空港における大型機から中型機への機種変更と国際線が羽田空港へ一部シフトされる影響を織り込む一方、羽田空港における国際線地区再拡張による、航空各社の国際線の増便・路線開設に伴う増収を計画しております。整備事業では、羽田空港における新規施設設備保守の受注を予定するものの、空港関連施設に対する大口更新工事の受注が前期並みの規模では見込めないことによる減収を織り込んでおります。付帯事業では、セキュリティ業務は堅調に推移すると見込まれますが、フードコート販売は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減を見込んでおります。

これにより、売上高は前期比2億37百万円(2.1%)減の110億78百万円を予想しております。

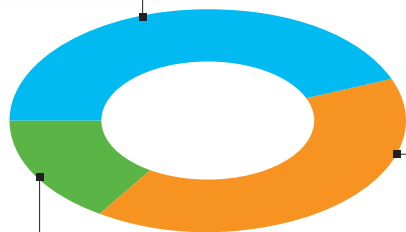
営業費用は原材料費が減少するものの、羽田空港における国際線地区再拡張に伴う減価償却費が増加することから前期並みを見込んでおり、営業利益は前期比2億32百万円(21.5%)減の8億50百万円となる見込みです。また、経常利益は前期比2億51百万円(23.3%)減の8億26百万円、当期純利益は前期比80百万円(14.2%)減の4億89百万円を見込んでおります。

株主の皆さまには、今後とも格別のご理解と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ひと目でわかるAGP ―事業別概況と今後の取組み―

◎セグメント別売上高(連結)

| | | | |
|------|--------------|------|--------------|
| 動力事業 | 4,991百万円 | 整備事業 | 4,556百万円 |
| | 44.1% | | 40.3% |



| | |
|------|--------------|
| 付帯事業 | 1,767百万円 |
| | 15.6% |



| | |
|------------------|----------------------|
| 動力事業 セグメント利益(連結) | 716百万円(前期比+171百万円) |
| 整備事業 セグメント利益(連結) | 575百万円(前期比△47百万円) |
| 付帯事業 セグメント利益(連結) | 423百万円(前期比+164百万円) |
| 連結営業利益 | 1,083百万円(前期比+275百万円) |

動力事業

航空機への動力(電力・冷暖房気・圧搾空気)の供給や、航空機用動力供給設備の設計・施工、運用管理を行っています



GPU固定式：電力

整備事業

空港における建物・諸設備の保守・維持管理や、発着支援設備など特殊設備のメンテナンスを行っています



手荷物搬送設備

付帯事業

フードカートやGSE(Ground Support Equipment)関連製品など、航空機の運航に付帯する製品の開発および製作、販売を行っています



EH加熱カート



保温カート

■ 2014年3月期概況

売上高 49億91百万円 1.8%増 

航空機の小型化と主要顧客の経費節減施策が継続されているものの、本邦LCC3社への販売増をはじめとした、国内外各社の就航便数の増加と営業強化により増収

セグメント利益 7億16百万円 31.4%増 

関西空港・福岡空港において減価償却費が減少したほか、効率的な人材運用による人件費の抑制等により増益

■ 対処すべき課題

- 設備設置形態や設備仕様の見直しを行い、投資コストの低減を図りつつ、着実な設備投資を実行
- 当社動力設備の使用率向上に向けて、積極的な営業活動の展開による、さらなる事業基盤の強化・拡大
- 地球環境保全への貢献として、国土交通省の提唱するエコエアポート施策にも全社を挙げて積極的に参画
- 関係先との連携強化と航空燃料の消費削減によるCO₂排出抑制

■ 2014年3月期概況

売上高 45億56百万円 5.2%増 

顧客の経費節減施策が継続されているものの、成田空港における施設関連設備の更新工事の受注等により増収

セグメント利益 5億75百万円 7.6%減 

売上の増加に伴う原材料費の増等により減益

■ 対処すべき課題

- 全国カバーのネットワーク、24時間運営体制や総合的施設保守等、当社の強みをアピールした営業戦略と、メーカー等と連携強化により、保守領域を拡大
- 異業種パートナーとの協業により、国内地方空港の運営主体や、アジア地域における空港の新設、拡張計画に対する技術支援への参画

■ 2014年3月期概況

売上高 17億67百万円 43.9%増 

消費税率引き上げに伴う駆け込み需要等により、フードコート販売の販売が増加したほか、成田空港における航空機用電源装置の販売等により増収

セグメント利益 4億23百万円 63.8%増 

売上の増加により増益

■ 対処すべき課題

フードコート事業

- 今後のマーケット動向を見極めたうえで、新たな需要の掘り起こしをはじめとした営業強化による販売促進
- 販売活動やアフターメンテナンスにおいて代理店等の外部リソースも有効活用し、収益力を向上

空港セキュリティ機器の保守管理

- メーカー・代理店との連携を強化し、新型セキュリティ機器の導入や更新へ着実に対応、事業を拡大
- 当社グループが保有する技術力の向上と技術サポート拠点の整備により、業務受託体制を強化

植物工場事業(2014年度開業予定)

- 工場の早期安定稼働と効率的な運営体制の構築を図るとともに、植物工場ビジネスに関連したコンサルタント業務や工場内設備の保守管理等の事業領域拡大
- 既存事業で培った技術やノウハウを活用し、空港周辺分野での新規事業領域拡大

新規事業の開拓 ―完全閉鎖型植物工場事業を開始―

当社グループは将来の事業の発展を見据えた新規事業開拓の一環として、2013年12月、「完全閉鎖型植物工場事業」への進出を決定しました。

完全閉鎖型植物工場の運営においては、特に以下の2点が重要となります。

1. 温度・光・培養液の濃度等の栽培環境管理
2. 各育成段階での厳密な工程管理

上記により当事業は、既存事業で培ってきた「施設維持管理」や「作業工程管理」などのノウハウを生かせるほか、将来的に、フードコート販売を含む既存事業とのシナジーによる発展も見込めます。さらに、屋外の畑では栽培できない機能性野菜「低カリウムレタス」の生産・量産技術が秋田県立大学と会津富士加工(株)によって確立されたことから、機能性野菜の生産に特化した植物工場事業が当社の新規事業開拓の一つとして妥当であると判断し、スタートしたものです。

現在、8月の出荷開始を目指し、準備中です。



工場完成予定図

事業形態等

- 会津富士加工(株)とのフランチャイズ契約(技術提供・全量買取等)を締結し、技術取得リスク、販売リスクを回避
- 事業収支の明確化、効率的な運営形態の導入、事業内容にあわせた雇用条件の設定などを考慮し、専業のグループ会社を新たに設立
- 投資金額：総額4億30百万円

スケジュール

- 2014年2月 工場着工
- 2014年4月 専業グループ会社(株)エージーピーアグリテック 設立
- 2014年8月 出荷開始

低カリウムレタスの特徴

- カリウム含有量が一般のリーフレタスの1/6程度のため、腎臓病患者からの需要がある
- 苦味が少なく食感が良い。クリーンルームの植物工場生産のため無農薬・衛生的・保存性が高い
⇒露地物野菜と差別化でき、高級野菜として一般食品市場でも需要が期待できる



低カリウムレタス



貸借対照表

| | 当期 2014年3月31日現在 | 前期 2013年3月31日現在 |
|----------------|--------------------|--------------------|
| 【資産の部】 | | |
| 流動資産 | 5,782 | 5,066 |
| 固定資産 | 6,496 | 5,847 |
| 有形固定資産 | 5,391 | 4,793 |
| 無形固定資産 | 76 | 35 |
| 投資その他の資産 | 1,028 | 1,017 |
| 資産合計 | 12,278 | 10,913 |
| 【負債の部】 | | |
| 流動負債 | 3,320 | 2,303 |
| 固定負債 | 2,762 | 2,880 |
| 負債合計 | 6,082 | 5,183 |
| 【純資産の部】 | | |
| 株主資本 | 6,190 | 5,731 |
| 資本金 | 2,038 | 2,038 |
| 資本剰余金 | 114 | 114 |
| 利益剰余金 | 4,037 | 3,578 |
| 自己株式 | △0 | △0 |
| 評価・換算差額等 | 6 | △1 |
| その他有価証券評価差額金 | 6 | △1 |
| 純資産合計 | 6,196 | 5,729 |
| 負債純資産合計 | 12,278 | 10,913 |

(単位：百万円)

損益計算書

| | 当期 2013年4月1日～ 2014年3月31日 | 前期 2012年4月1日～ 2013年3月31日 |
|--------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 売上高 | 11,071 | 10,240 |
| 売上原価 | 9,353 | 8,844 |
| 売上総利益 | 1,717 | 1,395 |
| 販売費及び一般管理費 | 632 | 619 |
| 営業利益 | 1,085 | 776 |
| 営業外収益 | 35 | 5 |
| 営業外費用 | 37 | 53 |
| 経常利益 | 1,083 | 728 |
| 特別損失 | 136 | 186 |
| 税引前当期純利益 | 946 | 542 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 406 | 233 |
| 法人税等調整額 | △44 | △16 |
| 当期純利益 | 584 | 324 |

(単位：百万円)

株主資本等変動計算書 [2013年4月1日～2014年3月31日]

| | 資本剰余金 | | | 株主資本 | | | | 自己株式 | 株主資本 合計 | 評価・換算差額等 | | 純資産 合計 |
|-----------------------------|-------|-----------|-----------------|-----------|-------------|-----------------------|-------------|------|------------|----------------------|--------------------|-----------|
| | 資本金 | 資本 準備金 | 資本 剰余金 合計 | 利益 準備金 | 利益剰余金 合計 | その他利益剰余金 別途 積立金 | 繰越利益 剰余金 | | | その他 有価証券 評価差額金 | 評価・換算 差額等 合計 | |
| 2013年4月1日残高 | 2,038 | 114 | 114 | 197 | 80 | 3,301 | 3,578 | △0 | 5,731 | △1 | △1 | 5,729 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | 12 | | △138 | △125 | | △125 | | | △125 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | △0 | △0 | | | △0 |
| 当期純利益 | | | | | | 584 | 584 | | 584 | | | 584 |
| 株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額) | | | | | | | | | | 7 | 7 | 7 |
| 事業年度中の変動額合計 | — | — | — | 12 | — | 446 | 458 | △0 | 458 | 7 | 7 | 466 |
| 2014年3月31日残高 | 2,038 | 114 | 114 | 209 | 80 | 3,747 | 4,037 | △0 | 6,190 | 6 | 6 | 6,196 |

(単位：百万円)

連結財務諸表

連結貸借対照表

| | 当期 | 前期 | | 当期 | 前期 |
|-----------------|--------------|--------------|-----------------|--------------|--------------|
| | 2014年3月31日現在 | 2013年3月31日現在 | | 2014年3月31日現在 | 2013年3月31日現在 |
| 1 【資産の部】 | | | 2 【負債の部】 | | |
| 流動資産 | 6,109 | 5,666 | 流動負債 | 2,906 | 2,182 |
| 現金及び預金 | 1,897 | 2,362 | 営業未払金 | 748 | 539 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 1,982 | 1,614 | 1年内返済予定の長期借入金 | 319 | 497 |
| 有価証券 | 1,292 | 891 | その他 | 1,838 | 1,145 |
| その他 | 936 | 797 | 固定負債 | 3,620 | 3,448 |
| 固定資産 | 6,711 | 5,957 | 長期借入金 | 1,618 | 1,737 |
| 有形固定資産 | 5,393 | 4,793 | 退職給付引当金 | - | 1,507 |
| 建物及び構築物(純額) | 2,508 | 2,061 | 退職給付に係る負債 | 1,799 | - |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,050 | 1,675 | 資産除去債務 | 39 | 32 |
| その他 | 834 | 1,057 | その他 | 163 | 171 |
| 無形固定資産 | 77 | 36 | 負債合計 | 6,526 | 5,631 |
| 投資その他の資産 | 1,239 | 1,126 | 【純資産の部】 | | |
| 投資有価証券 | 157 | 123 | 株主資本 | 6,438 | 5,993 |
| 繰延税金資産 | 570 | 440 | 資本金 | 2,038 | 2,038 |
| 敷金及び保証金 | 208 | 221 | 資本剰余金 | 114 | 114 |
| 退職給付に係る資産 | 272 | - | 利益剰余金 | 4,285 | 3,840 |
| その他 | 31 | 341 | 自己株式 | △ 0 | △ 0 |
| 資産合計 | 12,820 | 11,623 | その他の包括利益累計額 | △ 145 | △ 1 |
| | | | その他有価証券評価差額金 | 6 | △ 1 |
| | | | 退職給付に係る調整累計額 | △ 151 | - |
| | | | 純資産合計 | 6,293 | 5,992 |
| | | | 負債純資産合計 | 12,820 | 11,623 |

(単位: 百万円)

1: 資産 前期末に比べ11億96百万円(10.3%)増加し、128億20百万円

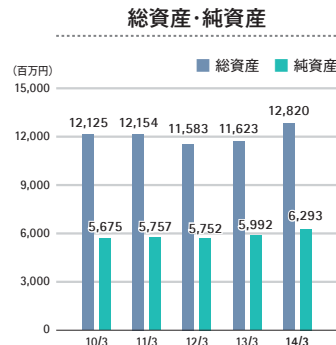
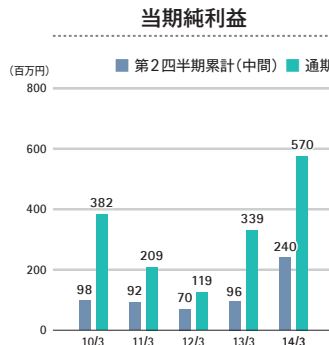
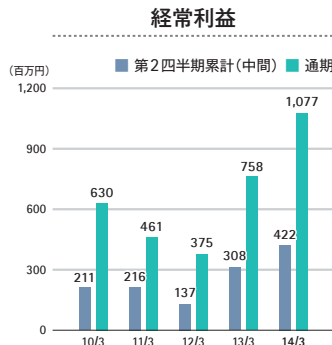
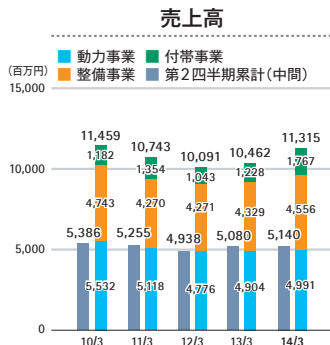
- **流動資産:** 前期末に比べ4億43百万円増の61億9百万円
 - 主な要因- ↑ 有価証券、受取手形及び営業未収入金、商品及び製品・
 原材料及び貯蔵品が9億4百万円増
 ↓ 現金及び預金が4億65百万円減
- **固定資産:** 前期末に比べ7億53百万円増の67億11百万円
 - 主な要因- ↑ 有形固定資産が5億99百万円増

3: 純資産 前期末に比べ3億1百万円(5.0%)増加し、62億93百万円

- 主な要因- ↑ 当期純利益に対する、剰余金の配当、退職給付に係る調整累計額及び、その他有価証券評価差額金等の加減算による

2: 負債 前期末に比べ8億95百万円(15.9%)増加し、65億26百万円

- **流動負債・固定負債:** 流動負債は前期末に比べ7億24百万円増
 固定負債は前期末に比べ1億71百万円増
 - 主な要因- ↑ 営業未払金、設備投資に伴う未払金、
 未払法人税等が9億6百万円増
 ↓ 長期借入金が2億97百万円減



連結損益計算書

| | 当期 | 前期 |
|----------------|--------------------------|--------------------------|
| | 2013年4月1日~ 2014年3月31日 | 2012年4月1日~ 2013年3月31日 |
| 売上高 | 11,315 | 10,462 |
| 売上原価 | 9,485 | 8,916 |
| 売上総利益 | 1,829 | 1,545 |
| 販売費及び一般管理費 | 746 | 738 |
| 4 営業利益 | 1,083 | 807 |
| 営業外収益 | 32 | 6 |
| 営業外費用 | 38 | 55 |
| 経常利益 | 1,077 | 758 |
| 特別利益 | - | 0 |
| 特別損失 | 136 | 186 |
| 税金等調整前当期純利益 | 940 | 572 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 430 | 277 |
| 法人税等調整額 | △ 60 | △ 43 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 570 | 339 |
| 5 当期純利益 | 570 | 339 |

(単位：百万円)

4: 営業利益 前期に比べ34.1%増加し、10億83百万円

-主な要因- 売上増加に伴い原材料費が増加したものの、関西空港における減価償却費の減少、人材ソース多様化等による総人件費の抑制等が寄与

5: 当期純利益 前期に比べ68.0%増加し、5億70百万円

-主な要因- 成田、福岡における減損処理、空調設備更新に伴う除却損等を計上したものの、事業撤退損を計上した前期に比べ特別損失が大きく減少したこと等が寄与

株主資本等変動計算書 [2013年4月1日~2014年3月31日]

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|-------------------------|-------|-------|-------|------|--------|------------------|------------------|-------------------|-------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | |
| 2013年4月1日残高 | 2,038 | 114 | 3,840 | △0 | 5,993 | △1 | - | △1 | 5,992 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △125 | | △125 | | | | △125 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 | | | | △0 |
| 当期純利益 | | | 570 | | 570 | | | | 570 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | | 7 | △151 | △143 | △143 |
| 当期変動額合計 | | | 444 | △0 | 444 | 7 | △151 | △143 | 301 |
| 2014年3月31日残高 | 2,038 | 114 | 4,285 | △0 | 6,438 | 6 | △151 | △145 | 6,293 |

(単位：百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書

| | 当期 | 前期 |
|------------------|--------------------------|--------------------------|
| | 2013年4月1日~ 2014年3月31日 | 2012年4月1日~ 2013年3月31日 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,354 | 1,315 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,073 | △ 295 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 545 | △ 789 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △ 264 | 229 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,254 | 3,024 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,989 | 3,254 |

(単位：百万円)

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億64百万円減の29億89百万円となりました。

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は13億54百万円(前期比3.0%増)となりました。
-主な要因- 税金等調整前当期純利益が9億40百万円、減価償却費が7億70百万円、仕入債務の増加額が2億9百万円となる一方、売上債権の増加額が3億68百万円、法人税等の支払額が3億30百万円となったこと等

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は10億73百万円(前期比262.7%増)となりました。
-主な要因- 羽田空港、成田空港、那覇空港等への航空機用動力設備の設置等

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は5億45百万円(前期比30.8%減)となりました。
-主な要因- 長期借入による収入が2億円となった一方、長期借入金の返済による支出が4億97百万円、配当金の支払額が1億25百万円となったこと等

株式の状況

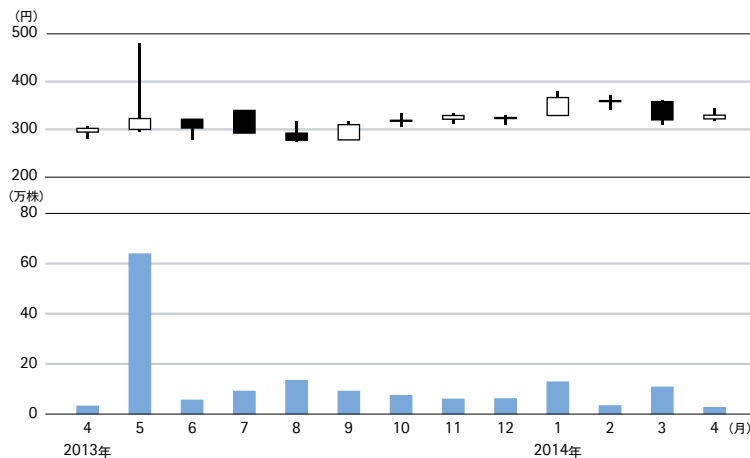
| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 52,000,000 株 |
| 発行済株式総数 | 13,950,000 株 |
| 株主数 | 619 名 |
| 単元株式数 | 1,000 株 |

大株主

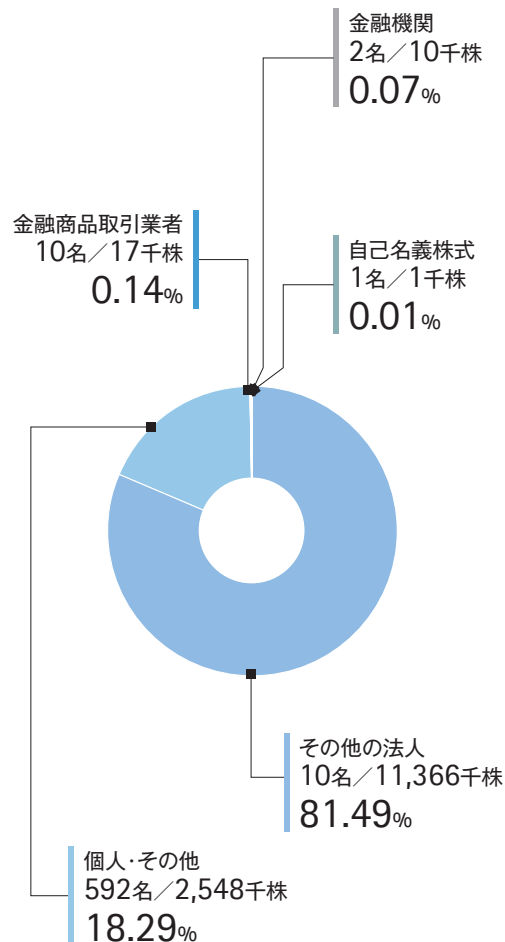
| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|-----------------|-------------|---------|
| 日本航空株式会社 | 4,651,000 株 | 33.34 % |
| 三菱商事株式会社 | 3,740,000 株 | 26.81 % |
| ANAホールディングス株式会社 | 2,793,000 株 | 20.02 % |
| エージーピー社員持株会 | 431,000 株 | 3.09 % |
| 城 暎男 | 102,000 株 | 0.73 % |
| 栗原工業株式会社 | 86,000 株 | 0.61 % |
| 高橋 知子 | 72,000 株 | 0.51 % |

※持株比率については、自己株式(1,950株)を控除して算出しております。

株価及び株式売買高の推移 (月足)



株式の分布状況



会社概要

| | |
|-------|--|
| 商号 | 株式会社エージーピー AGP CORPORATION |
| 本社 | 〒144-0041 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号 TEL. 03-3747-1631 FAX. 03-3747-0707 E-mail info@agpgroup.co.jp |
| 最寄駅 | 東京モノレール羽田線 整備場駅 下車3分 |
| 設立 | 1965年12月16日 ／日本空港動力株式会社設立 2000年9月1日 ／株式会社エージーピーに商号変更 |
| 資本金 | 20億3,875万円 |
| 社員数 | 603名(連結)／164名(個別) (2014年3月31日現在) |
| 会計監査人 | 新日本有限責任監査法人 |

役員 (2014年6月17日現在)

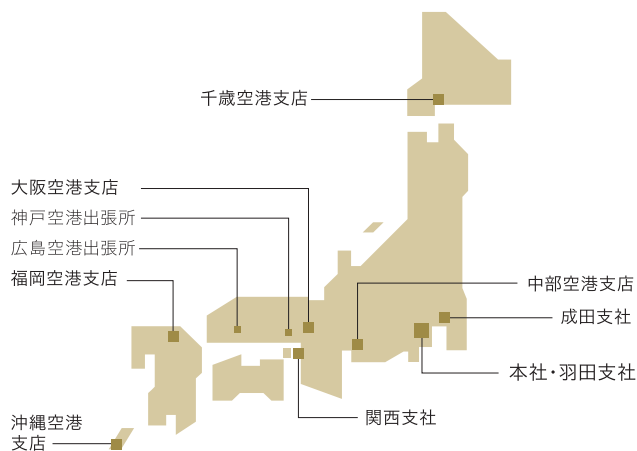
| | |
|---------|--------|
| 代表取締役社長 | 山口 栄一 |
| 常務取締役 | 早川 正英 |
| 常務取締役 | 生形 茂 |
| 常務取締役 | 小林 正樹 |
| 取締役 | 村尾 学 |
| 取締役 | 畑山 博康 |
| 常勤監査役 | 小澤 秀之 |
| 監査役 | 長谷川 正人 |
| 監査役 | 浅木 純 |
| 監査役 | 丹治 康夫 |

エージーピーグループ (連結子会社)

| | |
|------------------|---------------|
| 株式会社エージーピー沖縄 | 株式会社エージーピー開発 |
| 株式会社エージーピー関西 | 株式会社エージーピー北海道 |
| 株式会社エージーピー九州 | 株式会社エージーピー中部 |
| 株式会社エージーピーアグリテック | |

ネットワーク

| | |
|---------|---|
| 本社 | - 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号 TEL.03-3747-1631 FAX.03-3747-0707 |
| 成田支店 | - 千葉県成田市三里塚御料牧場1-1 (日本航空成田第一ハンガー内) TEL.0476-32-8775 FAX.0476-32-8779 |
| 羽田支店 | - 東京都大田区羽田空港三丁目1番2号 TEL.03-5757-9447 FAX.03-5757-9191 |
| 関西支店 | - 大阪府泉南市泉州空港南1番地 (関西国際空港格納庫内) TEL.072-456-6101 FAX.072-456-6107 |
| 千歳空港支店 | - 北海道千歳市美々 (新千歳空港内) TEL.0123-46-5858 FAX.0123-24-9213 |
| 中部空港支店 | - 愛知県常滑市セントレア一丁目1番地 (中部国際空港内) TEL.0569-38-0286 FAX.0569-38-8165 |
| 大阪空港支店 | - 大阪府豊中市蛍池西町三丁目555番地 (大阪国際空港内) TEL.06-6856-7326 FAX.06-6855-9490 |
| 神戸空港出張所 | - 兵庫県神戸市中央区神戸空港4-1 TEL.080-5075-5932 |
| 福岡空港支店 | - 福岡県福岡市博多区上臼井柳井348番地 (福岡空港内) TEL.092-621-9124 FAX.092-629-1974 |
| 広島空港出張所 | - 広島県三原市本郷町善入寺64番31 (広島空港内) TEL.0848-60-8311 |
| 沖縄空港支店 | - 沖縄県那覇市鏡水150番地 (那覇空港内) TEL.098-858-0291 FAX.098-859-4229 |



ホームページのご紹介

▶▶ <http://www.agppgroup.co.jp/>

当社ホームページでは、会社概要、IR情報、製品・サービスや採用情報など様々な情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、決算短信、IRハンドブック等のほか、最新のIRニュースや株価情報なども掲載しております。ぜひご覧ください。また皆さまのご意見・ご要望もお待ちしております。



株主メモ

| | |
|--------------------------|--|
| 決算期 | 3月31日 |
| 定時株主総会 | 6月中 |
| 同総会権利行使株主確定日 | 3月31日 |
| 利益配当金支払株主確定日 | 3月31日 |
| 基準日 | 毎年3月31日 そのほか臨時に必要なときは、あらかじめ公告いたします。 |
| 公告掲載新聞 | 日本経済新聞 |
| 株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関) | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 (同送付先) | 同社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話:0120-232-711(通話料無料) |

ご注意

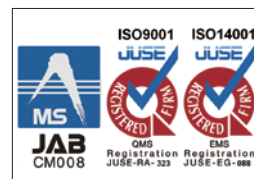
- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ご案内

- 平成26年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について
平成26年1月1日以降に個人の株主様が支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として20.315%(*)の源泉徴収税率が適用されます。
(*)所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%。
なお、株主様によっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。
- 少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要がございます。
ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。
NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。
○本ご案内は平成26年1月時点の情報をもとに作成しております。

 株式会社 エージーピー

〒144-0041 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号
TEL. 03-3747-1631 FAX. 03-3747-0707
URL: <http://www.agppgroup.co.jp/> E-mail: info@agppgroup.co.jp



本冊子はリサイクルペーパーを使用しております。